

「田子町観光振興計画」 附属資料 個別観光計画書

令和7年3月 策定

田子町

(本計画は、田子町観光振興計画をもとに策定したものであり、内容について実証事業等を通して都度反映していくものです)

目 次

1. 各個別計画実施に向けた重点事項について	1
2. エリアの施策展開について	3
(1) 観光テーマ	3
(2) 回遊観光ルート（案）	4
(3) 推進のための役割と受入体制	2 1
(4) 回遊観光ルート実施スケジュール	2 2

資料編

【参考資料】 田子町年間イベントカレンダー	2 3
【参考資料】 個別ワーキングより提案されたイベント	2 4

1. 各個別計画実施に向けた重点事項について

(1) 観光情報の発信・収集・共有

当町の情報発信については、町、観光協会、ガーリックセンター、各種団体、町民などの個人が、それぞれのホームページやSNSを活用し、イベントや商品、農産物、暮らしなどの情報を発信しています。近年は、スマートフォン等の普及に伴い、インターネットによる情報収集が主流になっていることから、観光者に対しては「話題性」、「正確性」、「リアルタイム性」を持った情報をいかに伝えていくかが重要となります。

また、観光施策の推進に向けては情報発信の強化だけではなく、当町の提供価値の明確化や、顧客となる来町者からの声（ニーズ）を吸い上げ、分析・検証を行い、施策や計画に反映させていくことが重要となることから、情報発信の体制やプロモーション方法、情報の収集・共有方法について町及び関係者との協議を行います。

(2) 観光施策に対する実施体制の構築

観光施策の実施については、町、観光関連事業者及び団体、町民が連携し、各主体が協働して取り組んでいくことが地域の活性化及び関係人口・交流人口・応援人口を増やす上でも重要であります。今後の施策の実施については、既存の体制について見直しを行い、それぞれの強みや役割を再確認し、本計画を町全体で共有し、各主体が一体となった施策の実施に向けた体制の構築を目指していきます。

(3) 観光人材の育成

各エリアの体験型観光プログラムを実現するためには、観光客と地域を結ぶ人材が必要であり、観光関連事業者はもちろんのこと、多くの町民が関わりを持ち、町全体で観光客のもてなしができるよう、観光人材育成を図る必要があります。あわせて、訪日外国人などのインバウンド観光に向けた対応も急務であることから、観光関連事業者と連携した人材育成の実施方法について協議及び育成を行っていきます。

(4) 観光コンテンツ創出に向けた支援

当町の観光誘客を実現していくためには、観光コンテンツに関わる者（事業者）を増やす事、そして町内に点在する観光資源（例：食と文化体験など）の組み合わせを行う事で、観光地としての多様性を生み出すことが重要となります。この資源の組み合わせ（人や物のコラボレーション）により、風土を活かした観光客向けのイベントや物産品などが増えることも、町外に向けての魅力的な発信につながっていくと考えます。今後、観光コンテンツ創出に向けた支援については、町で実施している各種補助事業や、外部補助金の活用により、価値の提供を受ける顧客を明確化したうえで、魅力ある地域づくりを目指し情報発信及び相談・指導対応を行いながら町で支援を継続していきます。

今後の戦略モデル

①現在の観光施設等の情報開示の把握

- ・デジタル開示情報があるか（例 店舗、施設名、所在など）
- ・顧客が求める情報があるか（例 営業時間、サービス内容など）
- ・情報は常に最新のものであるか（例 ホームページ未更新など）

②自社の資源や活動・魅力の紹介

- ・顧客が求めたくなる自社等の活動や魅力（例 セールスポイント）が紹介されているか
- ・ターゲットが明確化しているか（例 ファミリー層向けの PR がされているかなど）

③ライバルに対する差別化

- ・町内及び町外含む同業種との差別化やこだわりがあるか
例）味へのこだわり、景色へのこだわり、対外的に PR する要素

④観光情報を発信するための準備（指導・助言）

- ・発信媒体の決定（例 Google マップの活用） → 検索アプリでの情報統一
- ・情報のデジタル化への承認及び作成指導 → デジタル対応できない施設等への補助
- ・アナログ情報の紙媒体の作成（観光マップなど）

⑤情報発信開始

- ・町内の様々な情報が事細かにわかる内容の準備
- ・Google マップ（Google ビジネスプロフィール）活用での多言語化対応

⑥観光客の口コミ等を利用したニーズ把握と新たなコンテンツ提案

- ・口コミ等での実際の評価を元に、満足できない点や不便である点を改善するため、町内での新たな観光コンテンツの提案（コラボレーション）をする

⑦観光コンテンツの完成と運営

①～⑥の作業を繰り返し、スクラップアンドビルドを行い、観光客に対して事業者の優位性があるものはブラッシュアップを行いながら計画を進めていきます。
情報発信の一元化については、まずは個々の詳細情報整備を優先とし、事業者への責任感を醸成しながら、みろく館などをキーとした構想を進めていきます。

2. エリアの施策展開について

観光施策を進めるにあたって、重要かつ先導的に取り組む必要性が高い回遊観光ルートに関する施策について、下記エリアプランを想定します。

(1) 観光テーマ

観光資源・施設を単純につなげる回遊観光ルート設定ではなく、本町を訪れる観光者のニーズに合わせた体験型の観光テーマを3つ設定し、それに基づき回遊観光ルートを設定しました。

【体験エリア】既存する資源を活用した体験型観光

たっこ体験型
ツーリズム

町内体験施設等を中心とした自然体験や農林業体験を通じた田子町ならではの生活体験ができます。

【食・文化・芸能エリア】「過去」と「いま」の時を結ぶ文化の継承・田舎文化の体験型観光

たっこ文化
ツーリズム

田子町特有の歴史的な・文化的な資源、施設やにんにくや地元食材を活用した食の提供を通じた体験ができます。

【自然観光エリア】持続可能で安全な環境を実現し、五感で感じる自然体験型観光

たっこ
エコツーリズム

奥羽山脈系の自然保護に配慮しつつ、田子町の自然と触れ合い、田子町の自然の魅力を味わえます。

(2) 回遊観光ルート（案）

【体験エリア】既存する資源を活用した体験型観光

たっこ体験型ツーリズム

町内における体験型観光及びたっこ田舎暮らし体験				
観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
・リフレッシュ ・交流 ・体験学習 ・校外学習	・個人 ・家族 ・グループ ・団体	・自家用車 ・レンタカー ・バス、タクシー	・立ち寄り観光 ・宿泊 ・農業・林業・畜産業体験 ・民泊	・ロジカウベル ・たっこ創遊村 ・229スキーランド ・バギー ・星空日本一 ・町内廃校校舎 ・農林業体験
整備内容				★印 優先度高
○ソフト整備 ★①観光客からの情報発信 ★②各種体験プログラム作成及びインストラクターの育成 ③農業体験等の受入農家の育成 ④インバウンドを見据えたコンテンツの開発支援 ⑤地元事業者の観光産業参入支援 ⑥コンベンション誘致の強化 ⑦星空保護区の検討 ○ハード整備 ⑧宿泊滞在を可能にする宿泊環境・移動手段の整備 ⑨町内駐車場・トイレの整備				

<一例>

大黒森周辺での体験型観光	たっこ田舎暮らし体験
大黒森付近でのバギー散策 大黒森トレッキング 創遊村での体験 屋外での夕食（BBQ） 星空観測	農業体験① （例：にんにくの植付・収穫体験、ブルーベリー収穫体験、稲刈り体験など、田舎料理体験）

ワーキング各エリア集約結果（たっこ体験型ツーリズム）

★印 優先度高

エリアの性格 将来イメージ	整備計画	施策の主たる内容
・ 現存する資源を活用した体験創造（自然・歴史など） ・ 地元住民とのふれあい創出	・ 体験旅行の促進のための環境整備 ・ 多様で魅力的な様々な体験の提供 ・ 既存施設の長期利用への維持管理（創遊村、229スキーランド、ロジカウベルなど）	★①観光客からの情報発信 ★・町内を検索できるツールを各所に設置 ★①イベント年間スケジュール作成 ★②各種体験プログラム作成 ★②インストラクターの作成 ★②廃校校舎活用体験 ③各種農業収穫体験 ④インバウンドを見据えたコンテンツの開発支援 ④魅力発見ツアーの実施 ④スタンプラリー ⑤地域事業者の観光産業参入支援 ⑥コンベンション誘致の強化 ⑦星空保護区の検討 ⑧宿泊滞在を可能にする宿泊環境・移動手段の整備 ⑨町内駐車場・トイレ整備

【食・文化・芸能エリア】「過去」と「いま」の時を結ぶ文化の継承・田舎文化の体験型観

たっこ文化ツーリズム

にんにくの町田子町 食べ歩きコース				
観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
・ 飲食 ・ 交流	・ 個人 ・ 家族 ・ グループ	・ 徒歩 ・ レンタサイクル	・ 立ち寄り観光 ・ 町歩き	・ にんにく料理 ・ お土産品づくり ・ 町内飲食店等 ・ 商店街
整備内容			★印 優先度高	
○ソフト整備				
★①商工事業者による食べ歩き商品の開発、全店共通のにんにく料理メニュー及びレシピの開発				
★②SNSやHPなどの観光情報や道路交通情報などの情報発信の整備				
③宿泊施設と飲食店との事業者連携の構築				
○ハード整備				
④にんにくのモニュメントなど見て楽しめるような環境整備				
⑤インバウンド対応のピクトグラムなどの標識整備				
⑥町内一円を「にんにくのテーマパーク」のように見立てた構想の整備				

食べ歩きコース（一例）



ワーキング各エリア集約（食・文化・芸能エリア）

★印 優先度高

エリアの性格 将来イメージ	整備計画	施策の主たる内容
・ 田子の田舎文化を伝え、体験する ・ 「過去」と「いま」の時を結ぶ文化の継承	・ 町内消費の拡大 ・ 伝統文化の継承 ・ みろく館をキーとした交流の仕組み作り	★①フェザン通り商店街食べ歩き ★①旅行者が食事難民にならないような環境の整備 ★①全店共通のにんにく料理メニュー及びレシピの開発 ★①全店舗が共通テーマで作る料理 ★①どの店に行ってもにんにく料理が食べられるような環境整備 ★②SNS及びHP強化 （観光案内宿泊情報、トイレ駐車場の案内、道路交通案内など各種情報） ★②写真、動画で情報を得られる地図の整備 ③宿泊施設と飲食店の連携 （お弁当の提供など） ③食事引き渡しの場所確保 ④にんにくモニュメント探し ⑤ピクトグラムの整備 （外国人対応） ⑥「にんにくのテーマパーク」のような要素をもった施設の整備、旅行者が安心安全に田子町を観光できる環境整備

鹿角街道トレイルルート				
観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
・歴史学習 ・健康増進	・個人 ・家族 ・グループ ・団体	・徒歩 ・自家用車 ・レンタカー ・バス、タクシー ・レンタサイクル	・立ち寄り観光 ・スタンプラリー	・みろく館 ・歴史・文化的資源の鑑賞 ・商店街
整備内容			★印	優先度高
○ソフト事業 ★①歴史ガイドの育成 ○ハード事業 ★②町内を検索できるツールを各所に整備 ③歴史・文化資源及び施設までのインバウンド対応型誘導標識の整備 ④町内周遊を目的とした駐車場、トイレ整備				

○城跡

日ノ沢館跡、種子館跡、千葉館跡、相米館跡、三戸讓板襖、牛尾館跡、佐々木館跡、原館跡、三十六歌仙彩色画、北地吟哦十首献額、石亀館跡、茂市館跡

○史跡

日ノ沢遺跡、田子古墳、野面平遺跡、石亀遺跡、ストーンサークル

○神社・寺・仏像

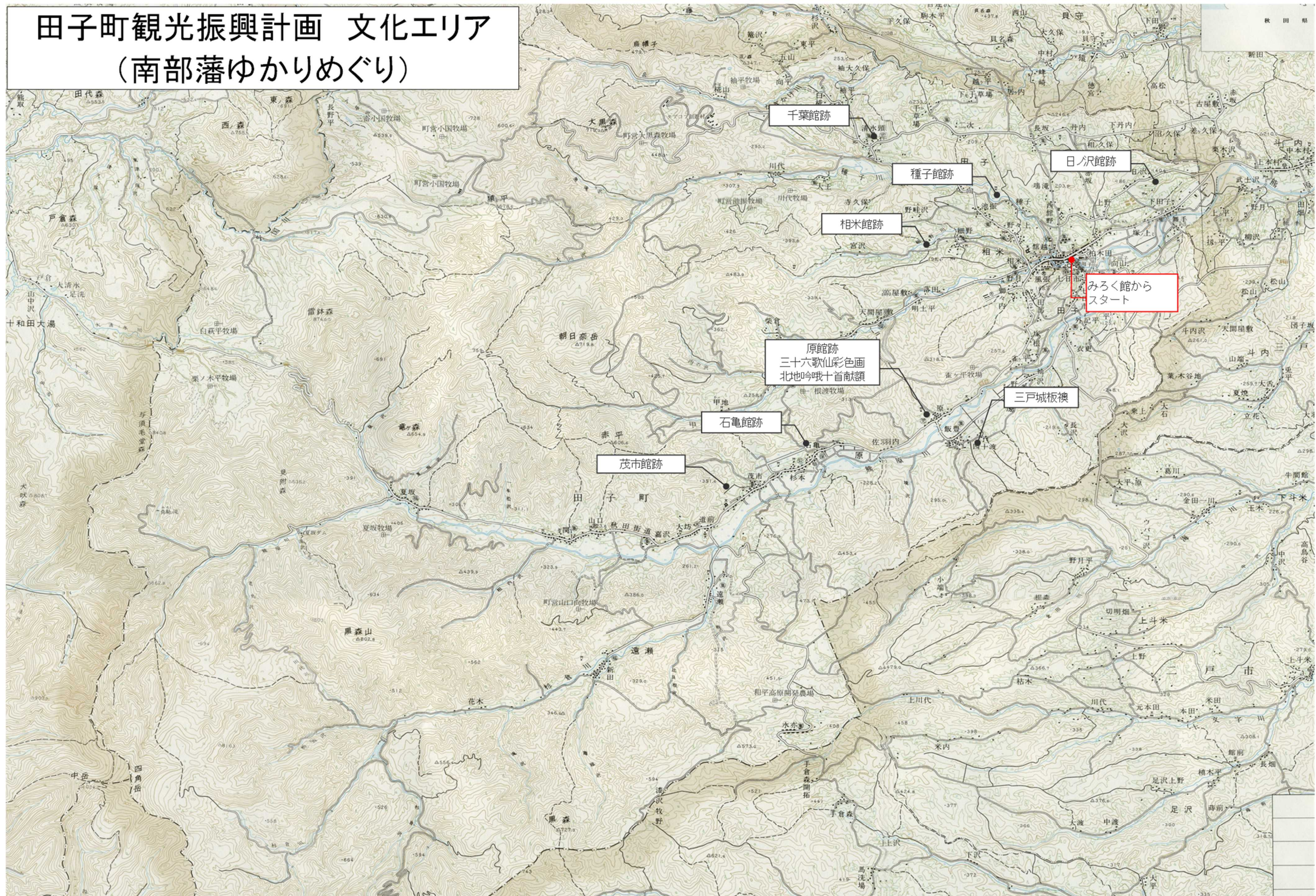
奇峰学秀作仏像一体、奇峰学秀作仏像二体、奇峰学秀作仏像三体、奇峰学秀作仏像六体、奇峰学秀作仏像八体、青銅製山の神像、十一面観音像、お前立童子三体、真清田神社棟札 8 枚、千体仏完成記念碑、釜淵観音堂棟札 4 枚、九戸亀千代斬殺の場、洞円寺山門、洞円寺仁王像

ワーキング各エリア集約(食・文化・芸能エリア)

★印優先度高

エリアの性格 将来イメージ	整備計画	施策の主たる内容
・ 田子の田舎文化を伝え、体 験する ・ 「過去」と「いま」の時を結 ぶ文化の継承	・ 町内消費の拡大 ・ 伝統文化の継承 ・ みろく館をキーとした交流の仕組み作り	★①まちあるき（歴史）ガイドの育成・設定 ★①時間単位で提案するモデルコースの提案 ★①地域の無形文化財などの価値を適切に伝えるプロモーションの実施 ★②町内を検索できるツールを各所に設置 ③ピクトグラムの整備（外国人対応） ④駐車場・トイレの整備

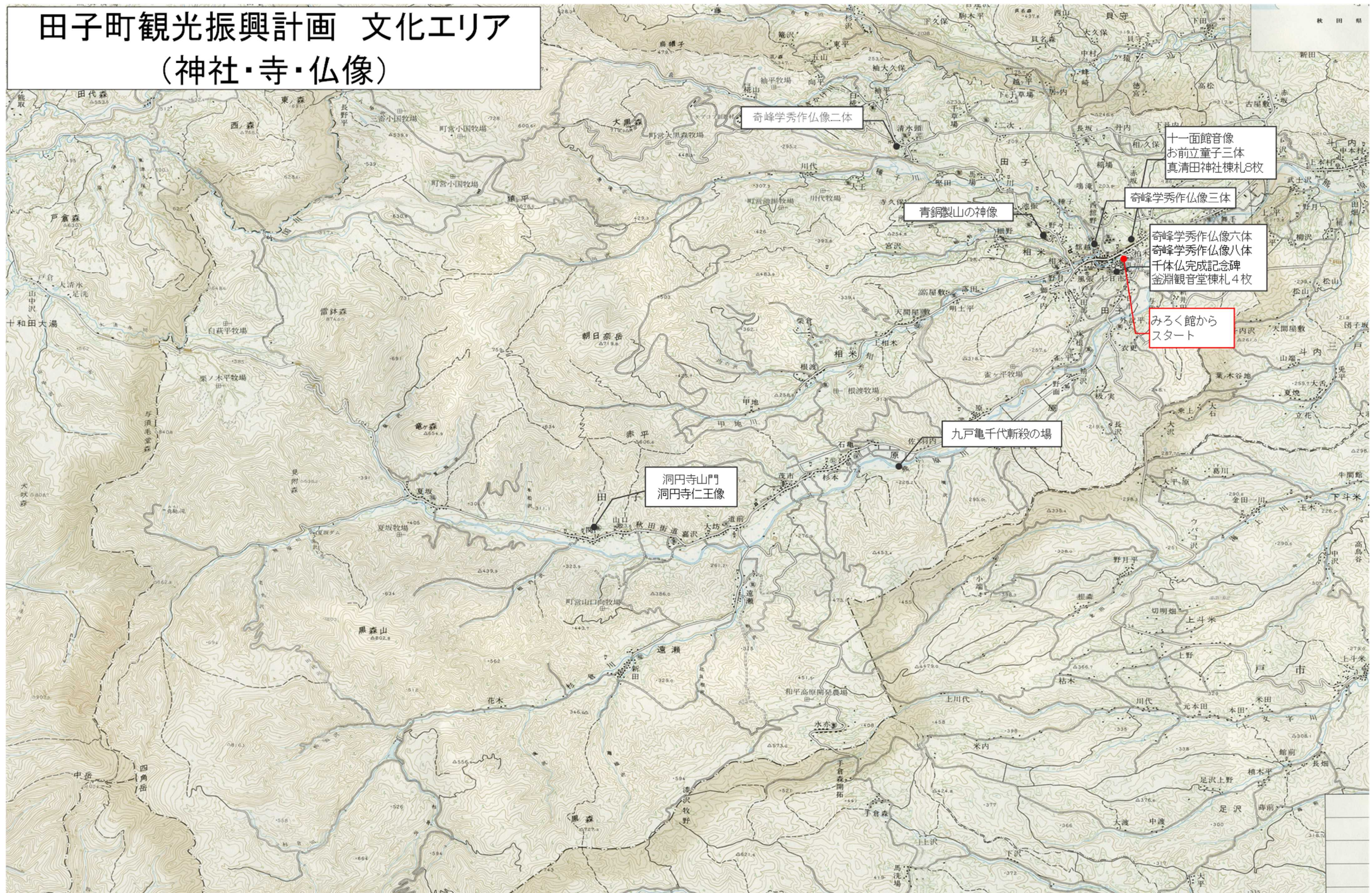
田子町観光振興計画 文化エリア (南部藩ゆかりめぐり)



田子町観光振興計画 文化エリア (史跡めぐり)



田子町観光振興計画 文化エリア (神社・寺・仏像)



田子町歴史観光資源（一例）



九戸亀地千代惨殺の場



洞円寺山門



県重宝文化財
弥勒菩薩像



県重宝文化財
十一面観音



奇峰学秀作仏像二体（清水頭・姥ヶ丘神社内）



真清田神社
十一面観音像



真清田神社
十一面観音像

十一面観音像（真清田神社内）



お前立童子（真清田神社内）

たっこ郷土芸能体験				
観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
・歴史学習 ・見学 ・鑑賞 ・体験	・個人 ・家族 ・グループ	・徒歩 ・自家用車 ・レンタカー ・バス・タクシー ・レンタサイクル	・体験	・みろく館 ・田子神楽 ・ナニャドヤラ
整備内容				★印優先度高
○ソフト整備 ★①田子の語り部、町の昔話の提供できる人材育成 ★②時間単位で提案するモデルコースの提案 ★③地域の無形文化財などの価値を適切に伝えるプロモーションの実施 ④文化財、巨木、遊ぶ、食べることを一括した案内マップの作成 ⑤ガーリックステーキごはんや郷土料理等を提供できる体制整備				

郷土芸能体験（一例）
①みろく館受付 ↓ ②語り部による町の伝承や昔話の傾聴 ↓ ③郷土芸能鑑賞及び体験 （田子神楽やナニャドヤラ） ↓ ④みろく館にて食事 （ガーリックステーキごはんもしくは郷土料理のお膳など）



ワーキング各エリア集約(食・文化・芸能エリア)

★印優先度高

エリアの性格 将来イメージ	整備計画	施策の主たる内容
・ 田子の田舎文化を伝え、体験する ・ 「過去」と「いま」の時を結ぶ文化の継承	・ 町内消費の拡大 ・ 伝統文化の継承 ・ みろく館をキーとした交流の仕組み作り	★①田子の語り部、町の昔話の提供 ★②時間単位で提案するモデルコース提案 ★②満足度を高め、地域経済に貢献するコンテンツの開発支援 ★③地域の無形文化財などの価値を適切に伝えるプロモーションの実施 ★③郷土芸能を体験できる体制構築 ④文化財、巨木、遊ぶ、食べるを一括した案内マップの作成 ⑤全店舗が共通で作る料理

【自然観光エリア】持続可能で安全な環境を実現し、五感で感じる自然体験型観光

たっこエコツーリズム

五感で感じる田子町大自然満喫コース				
観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
・自然鑑賞 ・環境学習 ・健康増進	・個人 ・家族 ・グループ ・団体	・徒歩 ・自家用車 ・レンタカー ・レンタサイクル	・山歩き ・川遊び ・星空観察 ・キャンプ	・奥羽山脈系の豊かな自然 ・みろくの滝 ・新田の水車 ・パノラマ景観の眺望 ・湧水 ・星空 ・雪 ・花見（ツツジ、桜等） ・町内廃校校舎 ・ロジカウベル ・創遊村 ・229スキーランド
整備内容				★印優先度高
○ソフト整備 ★①SNSを活用したリアルタイムでの情報発信の整備 ★②映えスポットや撮影スポットの設置整備 ★③自然をガイドするボランティアスタッフなどの育成 ★④既存施設での自然体験イベントやツアーの実施（川遊び、雪像、そりなど） ★⑤来町者が感想を書き込める意見箱の設置 ⑥みろくの滝・新田の水車などの事業者や各集落での食の提供の促進 ○ハード整備 ⑦インバウンド向けの案内看板やピクトグラムの整備 ⑧自然観光地までの道路環境や景観整備 ⑨みろくの滝親水公園など自然を体験できる場所への遊具の設置 ⑩町内廃校を活用したオールシーズン対応型のオートキャンプ場の整備 ⑪アウトドアを楽しむことができる宿泊用キャンピングカーの整備 ⑫小型バイクやトゥクトゥクなどの利用者が自然を体感できるサービスの提供や整備				

ワーキング各エリア集約(自然観光エリア)

★印優先度高

エリアの性格 将来イメージ	整備計画	施策の主たる内容
・ 持続可能で安全な環境を実現し、五感で感じる自然観光の創出 ・ 現状の自然環境を維持、または失われた自然を取り戻す活動につながるSDGsへの対応や環境負荷の低減（地域資源の保護、ゴミ0など） ・ レジリエント（回復力のある）な観光地への転換	・ 町内の情報発信内容の拡充 ・ 各自然観光場所への撮影スポットの整備及び誘導表示 ・ 自然観光をガイドするスタッフの育成や組織の設置・誘致 ・ 自然観光を楽しむイベントやツアーの企画 ・ 自然観光場所での食の提供 ・ 自然を体感できる遊具の整備 ・ 観光場所までの移動方法の整備・提案 ・ キャンプ場やキャンピングカーを活用した宿泊場所の提供	★①観光名所をQRコード読み込みにより閲覧できる説明動画の作成 ★①SNSを活用したリアルタイムでの写真や動画の投稿 ★①地元ならではの楽しみ方や隠れた風景の紹介 ★①著名人とコラボしての情報発信 ★①ライブカメラの設置 ★②映えスポットや撮影スポットの設置 ★③自然をガイドするスタッフなどの育成 ★④観光協会や事業者と連携した自然観光メニューの整備 ★④既存施設を活用した自然体験イベントの実施 ★④他市町村と連携した観光の提案 ★④既存施設をハブにし、自然観光地を周回するようなクイズイベントの実施 ★④雪像やそりなど雪を活用したイベントの実施 ★⑤来町者への意見箱の設置 ⑥みろくの滝・新田の水車など事業者や各集落での食の提供の促進 （新田のそばやパン、郷土

		の食べ物など ⑦インバウンド向けの看板 標記や案内整備 ⑦ピクトグラムの設置 ⑦近隣トイレの案内表示設 置 ⑦巨木の案内等のデジタル 化 ⑧自然観光地までの導線の 環境整備 ⑧夏坂ダムや花木ダムのダ ム来訪者が見えやすい景 観整備 ⑨みろくの滝親水公園など 自然を体験できる場所へ の遊具の設置 ⑩既存施設（旧上郷小学 校・旧清水頭小学校）を 活用したオールシーズン 対応型のオートキャンプ 場の整備 ⑪アウトドアを楽しむこと ができる宿泊用キャンピ ングカーの整備 ⑪災害時対応等の強化 ⑫まちなか観光案内車（バ スやタクシー）など事業 者と連携したサービスの 整備（定額制、コースな ど） ⑫小型電動バイクやトック トックなどの利用者が自 然を体感できるサービス の提供や整備
--	--	---

田子町自然観光資源（一例）



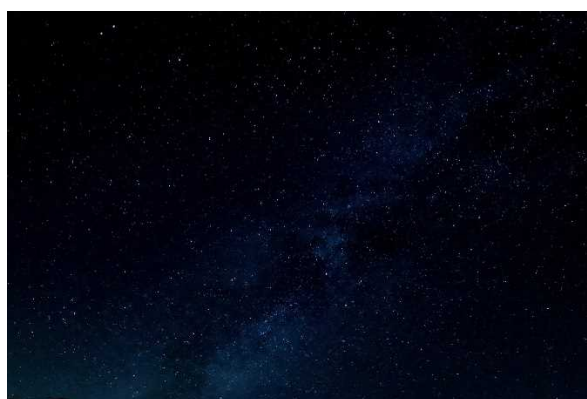
みろくの滝



大黒森つつじ



新田の水車



星空



229 スキーランド（雪）



町内にある各巨木

田子町観光振興計画 自然観光エリア

↑十和田湖(宇樽部)へ誘導

大黒森エリア

ロッジカウベルを起点に、各自然観光エリアへ

- ・創遊村での体験
- ・大黒森山トレッキング
- ・サウナ
- ・バギー体験
- ・星空観測
- ・スキー・そり など

創遊村229スキーランド
体験交流センター(ロッジカウベル)
大黒森山頂・展望台(山つつじ群生)

蛇王の松
旧田子町立清水頭小学校
千葉家のオニグルミ
熊谷家のクワ
種子のカツラ
真清田神社スギ

上郷エリア

旧上郷小学校を起点に、各自然観光エリアへ

- ・川遊び(釣り)
- ・みろくの滝散策
- ・夏坂ダム・花木ダム
- ・巨木めぐり
- ・廃校を活用したキャンプ
- ・スノーシュー体験 など

みろくの滝
みろくの滝親水広場
夏坂ダム
三本松の山の神
上郷公民館
道前地区農村公園
田子町高齢者ふれあいセンター
茅葺き水車小屋
花木ダム

だだっちの木
石亀神社ケヤキ
桂水カツラ
旧田子町立上郷小学校

自然エリアを周遊 田子の自然を満喫

（３）推進のための役割と受入体制

観光まちづくりを推進するにあたり、本観光振興計画を着実に実行していきます。そのためには、町はもとより、観光関連事業者や町民のそれぞれの役割を明確にし、各主体が取り組む活動を相互に連携、調整、支援協力するための体制の確立が重要となります。そこで、本観光振興計画に関わる各主体に期待される役割は以下のとおりです。

【各主体の役割】

町

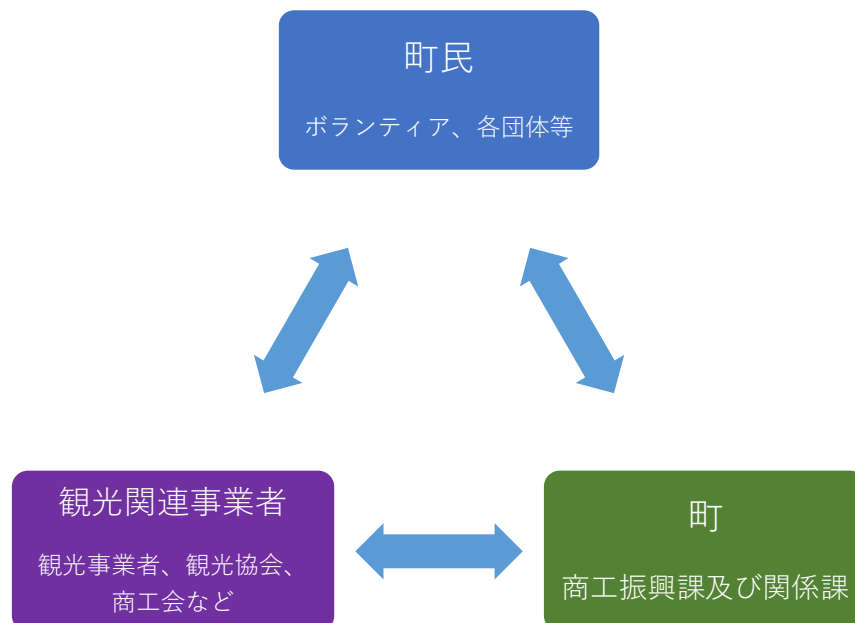
- ・観光振興計画に基づく事業施策の推進
- ・観光関連事業者・団体及び町民の調整、支援

観光関連事業者

- ・観光事業・観光プロモーションの実施
- ・観光関連事業者・団体相互の情報交換、連携、協力
- ・行政の事業施策への協力、参画

町民

- ・町の観光資源・施設に関する知識向上
- ・観光客との積極的なふれあい、交流（観光ガイド、地域の観光資源を維持・管理する個人・団体、たっこ・ツーリズム受入農家の会、体験交流プログラム指導等）



(4) 回遊観光ルート実施スケジュール

	1 年目 R 6 年度	2 年目 R 7 年度	3 年目 R 8 年度
全体共通項目	個別ワーキング 個別計画策定	地図情報作成、SNS 等での情報発信 関連事業体との協議	3 大祭りに合わせたモデル事業の実施
体験エリア	個別ワーキング 個別計画策定	体験プログラム・インストラクターの育成	インバウンド対応型 標識整備
食・文化・芸能 エリア	個別ワーキング 個別計画策定	郷土団体との協議 関連商工事業者とのメニュー・サービス検討 語り部などの人材育成	
自然観光エリア	個別ワーキング 個別計画策定	ガイドスタッフの育成 自然観光ルート・ 撮影スポットの検討	自然観光ルート 環境整備

【参考資料】 田子町年間イベントカレンダー

イベント名		開催月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		春		夏			秋			冬			
さくらまつり		○	○										
つつじ祭り			○										
にんにく三大まつり ★田子にんにく収穫祭				◎									
たっこグルメマラソン					○	○							
B onフェス・盆踊り大会						○							
相米慎二監督映画祭り						○							
にんにく三大まつり ★にんにくとべごまつり								◎					
にんにくロードウォーク								○					
ひとくるめ文化祭								○					
スノーフェスタ												○	
にんにく三大まつり ★たっこにんにくまつり												◎	

【参考資料】個別ワーキングより提案されたイベント

◎＝最も適している ○＝適している △＝状況に応じて開催可能 ×＝適していない

イベント名	開催月											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	春		夏			秋			冬			
環境保全イベント：美しい「たっこ」を守ろう 観光地の資源を維持するには、大変な労力が必要であることから、そこを訪れてゴミ拾いや清掃をしたことをポイント制などとしてイベントを開催する。 事例：清掃登山、みろくの滝清掃、大黒森草刈りなど	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
川遊び（水遊び）イベント 田子町のきれいな川で水遊び体験。創遊村やみろくの滝などでイワナのつかみどりを行う。田子の自然の豊かさが分かるだけでなく、親子で魚をさばくことにより食育にもつながる。	×	×	◎	◎	◎	○	○	×	×	×	×	×
田子の山歩きイベント 田子町のガイドと一緒に山の四季を体感しよう。田子の山の四季（山菜やきのこなど）をガイドと歩き感じる。公民館やみろく館など実際に収穫した山菜を食し、参加者同士で交流を深める。	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△
日本一の星空観察 星空日本一になった実績を元に、町内に星空スポットを設け、流れ星が見やすい場所を紹介。スマートフォン撮影による写真コンテストの開催 場所：大黒森、和平高原、旧上郷小学校など	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
田子の林産物で遊ぼう 田子に豊富にある林産物の良さを伝えるためのイベントを開催。竹馬レースや木工物を作るイベントを通じて、田子町の林産物の良さを体感してもらう。 開催地：創遊村、旧上郷小学校、旧清水頭小学校など	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
雪上かるた大会 田子町オリジナルカルタ。町の様々な歴史や文化をカルタにし、家族や友人などと楽しみながら田子町の文化を学ぶ機会を設ける。この他にも、雪合戦などの雪にちなんだイベントも併催する。	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎
田子雪像まつり（スノーフェスタと同時開催） スノーフェスタと合同開催で各地開催。田子の冬を楽しめるイベントとして開催。 会場：229スキーランド、旧上郷小学校、旧清水頭小学校など	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎

【参考資料】個別ワーキングより提案されたイベント

◎＝最も適している ○＝適している △＝状況に応じて開催可能 ×＝適していない

イベント名	開催月											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	春		夏			秋			冬			
たっこ魅力スタンプラリー 町内を周遊するスタンプラリーを実施。スタート及びゴールをみろく館として実施する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
食と芸能の祭典 芸能文化発表会と町を代表する食材を使ったグルメを組み合わせるなど、伝統芸能と食文化を融合させたイベントを実施する。	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
B B Qを楽しもう 町内の公園や各施設で事前に届け出を行い、町の精肉店で肉を購入した者についてB B Qを楽しんでもらう。田子牛の肥育、養鶏も盛んであることから、消費の機運を高め、公園や廃校の校庭などで実施する。バーベキューグリルやバケツコンロの貸し出しを行う。	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△
美しい「たっこ」発信 創遊村やカウベル、大黒森の自然、神楽やナニヤドヤラ、みろくの滝や新田の水車などの写真や絵画などを募集し、作品展を行う。展示はみろく館など。動画などの上映も含む。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
農業体験 にんにくをはじめとする農作物を農家と一緒に農作業する。農業体験を通じて、農作物のことを知る機会にもなり、地域とのつながりもできる。	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△
キャンプ体験 ロッジカウベル、創遊村、廃校の活用などでのキャンプ。 自然のなかで四季を感じながら、自由な時間を過ごす。本格的なキャンプからデイキャンプまでをレベル別に分類し紹介する。	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△
出張シェフサービス 町内の宿泊施設や観光施設に、料理人を呼んで料理を提供する。これに伝統芸能を加えることにより、さらに特別な時間を過ごすことができる。	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△